

めざす子ども像

『命や人を大切にする子』『感謝の気持ちを大切にする子』

『夢に向かって進める子』『富雄を愛する子』

取組目標

幼稚園から中学校までの11年間を一貫して見守る体制を堅持し、地域・家庭・学校園が一層の連携をはかり、子どもたち個々の成長を促す豊かな体験へとつなげる。

## 【今年度の取組紹介】

今年度は奈良市の世界遺産登録20周年を記念して、地域の歴史を学ぶ「考古学博士と巡る 歴史体感ウォーク」を開催しました。中学校の図書室で1時間の座学の後、富雄丸山古墳を目指して、途中神社やお寺でもお話をいただきながら約2時間の道のりを歩きました。中学生、小学生だけでなく、下は4歳から上は80代の方まで、約80名が参加し、地元の歴史を学びました。ご同行いただきました橿原考古学研究所の泉森博士を始め、宮司さん、住職さん、埋蔵センターの職員さんなど多くの方にご協力をいただき、充実した取組となりました。



今年度初めて開催した「富雄子ども避難所生活体験」では中学校の体育館で児童生徒が「疑似家族」を作り、1泊2日の避難所体験をしました。これは子どもたちにとって貴重な体験になると共に、大人にとっても今後の地域作りにとって大きな一歩となりました。5月に実行委員会を立ち上げ、3つの地域の自主防災会と女性防災クラブの代表の方、公民館の館長にお願いいただき、子どものためのプログラムを組み立てていく中でお互いの交流、協力関係を作ることができました。



## 【今年度のまとめ】

今年度は様々な取組で多くの協力を得ることができました。地域が子どもたちの教育を支援し、理解を持って関わろうとする様子が広く見られるようになっていきます。

また、学校が地域にとっての「学び」の拠点となり、地域が学校を、学校が地域をより理解しようという姿が見られました。

## 【来年度に向けて】

様々な活動が充実する中でも見られる課題はあり、その解決のための方策を学校と共に考えていきたいと思います。特に子どもたちの姿の中に見られる「人と関わる力の弱さ」には学校地域共に共通の認識を持っています。次年度はコミュニティー・スクールの機能と有効に連動させ、「コミュニケーション能力」の育成に焦点をあてて取り組んでいきたいと思います。

めざす子ども像

**命や人を大切にする子 感謝の気持ちを大切にする子  
夢に向かって進める子 富雄を愛する子**

取組目標

地域と一体になった活動をとおり、めざす子ども像に合わせた取組の充実

## 【今年度の取組紹介】

昨年に続き充実した活動を行うために CN の方々と本校区のめざす子ども像について、話し合いを重ねてきました。地域の大人と少しでも触れ合う機会をつくり、たくさんのボランティアから学校を支援していただくことができました。環境整備では、花を植える方法だけでなく肥料のやり方、土づくり等を教えてもらいながら作業をしました。また、校舎内のトイレ掃除の仕方についても学びました。これまでと違った方法で今後の清掃活動に生きてくる内容だと期待をしています。古代米の栽培では、恒例の団子づくりを充実させ、しめ縄づくりの体験活動も行いました。そして新たな事業としては、防災教育の一つとして避難所開設の体験を行いました。ボランティアの方々に災害に備えての対策やこれまで起こった被害の話をしてもらいました。実際に泊まっの避難体験は、貴重な時間となりました。キャリア教育の取組や放課後学習に於いても年間を通して多くの支援をいただき、子どもたちは地域の大人たちとたくさんの触れ合いを経験しました。



## 【今年度のまとめ】

地域の方たちと一緒にやってきた環境整備は、参加する子どもたちも年々増えてきました。これは、ボランティア活動に対する意識の高まりだと考えられますが、地域の方たちから提案される作業内容や取り組む目標に新たなアイデアが出され、そのような活動に子どもたちは「大人から学ぶ」ということに興味を持ち意義を感じているようです。本事業をとおして地元の大人とより関係を深め、子どもたちが自分たちの役割と果たすべき責任を理解してくれることを期待しています。

## 【来年度に向けて】

今年度行った防災教育推進事業の避難体験は、本校区の大人同士へつながりをもたらしことに貢献できる内容でした。今後も避難体験や炊き出しの訓練を充実させ、災害時に備えて校区に貢献できる事業に発展させたいと考えます。

めざす子ども像

**○命や人を大切にする子 ○感謝の気持ちを大切にする子****○夢に向かって進める子 ○富雄を愛する子**

取組目標

**○地域の人材や保護者ボランティアを活用した体験型学習の充実****○学んだことや取り組んだことを地域や保護者ボランティアに伝える機会をもつ****【今年度の取組紹介】**

奈良市社会福祉協議会、二名地域包括支援センター、富雄地区社会福祉協議会、富雄地区自治連合会、富雄地区民生委員、6年生保護者の学習ボランティア、合わせて35名の協力を得て、6年生は「福祉体験」を行いました。「高齢者や障がい者の立場を理解する。」他3点をめあてに、車いす体験・高齢者疑似装具体験・アイマスクを使つての視覚障がいの体験学習を行いました。車いす体験では、①車いすに乗って感じる事 ②人を乗せて車いすを押すときに感じる事 の両方の体験を行いました。高齢者疑似装具体験では、装具をつけて体を動かしにくくして、①歩く、布巾を干す ②文字を読む、書く の体験をすることで、高齢者の体の様子を体験したり、気持ちを考えたりしました。アイマスク体験では、①自分がアイマスクをつけて誘導してもらいながら通路や階段を上り下りする ②視覚障がいの方を誘導するサポート役 の体験を行いました。全ての体験終了後に「振り返りタイム」として、子どもたち6人ずつのグループにボランティアの方に入ってもらい、子どもと大人交えて話し合う機会を作り、今回の体験で学んだこと、感じたこと、考えたことを話し合いました。その中で、「怖かった」「大変だった」という子どもたちの漠然とした考えが、ボランティアの方と話し合いをする中で、「自分にできることは何か」「相手が望んでいることは何か」「どうすれば解決できるのか」などを導いてもらったことで、自分自身の問題として捉えることができた子どもたちがたくさんいました。体験前に奈良市社会福祉協議会の石原倫子さんがお話をしてくださった「福祉というのは困っている人を見過ごさないこと。この学習を通してみなさんが、優しい町・優しい社会をつくる一員になれるよう考えるきっかけになればいいと思います。」を子どもたちが実感できた体験になりました。

**【今年度のまとめ】**

「地域の人と一緒にする活動は楽しい。やって良かった。」と答えた子どもたちは、1～3年生 96.5%、4～6年生 95.2%でした。学校だけではできない充実した活動を地域や保護者の方と行うことで、「地域に誇りをもつとともに、感謝の心、他人を思いやる心、命を大切にする心を育み、心身ともに自分の考えを表現できる力」を伸ばすことができたと思います。

**【来年度に向けて】**

来年度もパートナー会議（教員とコーディネーターとの学習の事前・事後、年度末に行っている打合せ）を行い、効果的に PDCA サイクルを回して、めざす子ども像や子どもたちの学びに繋がっていきます。

## めざす子ども像

**命や人を大切にする子**  
**夢に向かって進める子**

**感謝の気持ちを大切にする子**  
**富雄を愛する子**

## 取組目標

- ゲストティーチャーを招聘するなど多様な人との関わりを通して、より良い人間関係を作り、夢をもって自ら学ぼうとする児童を育成する。
- 地域の方と共に活動することで、人と出会うことの楽しさ・素晴らしさ、地域の良さを知ると共に、地域に対する誇りと自信、地域を愛する心を育てる。

## 【今年度の取組紹介】

## ○ 図書活動支援事業

委員会の時間に地域の方に来ていただき、図書の本のブッカーのかけ方や図書室の整備の仕方について教えていただきました。

## ○ ならまち探険（3年）

社会科の学習で「昔の生活」について学習しました。地域の方に来ていただき七輪で火をおこしたり、洗濯板を使って洗濯の仕方を教えていただいたりしました。これらの体験学習を通して学習が深まりました。

## ○ ゲストティーチャー（1年～6年）

ゲストティーチャーに来ていただいて、命に関する学習をしたり、国の文化に触れたり、様々な体験活動を行いました。



## 【今年度のまとめ】

今年度も地域コーディネーターの方が窓口となり、地域ボランティアの方に多数来校していただき、花植え・木々剪定・伐採などの環境整備や図書ボランティアによる図書の本の整理・修繕、家庭科・図工科の授業補助などに協力していただきました。ボランティアの方やゲストティーチャーとの出会いを通して、人と出会う喜びや自分を表現する喜びなど様々なことを感じる事ができました。そして、鳥見地区にたくさんの素晴らしい方がおられることに喜びを感じ、地域を愛し、地域に誇りを持つことができていると思います。

## 【来年度に向けて】

来年度も今年度同様、体験学習事業、環境整備事業、学習ボランティア事業、子ども安全見守り事業の4つの事業を中心に取組を展開していきます。今年度と同様にゲストティーチャーを招聘したり、ボランティアの方に来校していただいたり、児童がたくさんの方と出会える1年になるように進めていきます。また本年度は、2年に1度の文化鑑賞会を実施し、児童が心豊かな心情を持つことができました。来年度も地域にあるたくさんの人材を学校に集め、児童が人と出会う喜びを感じ、改めて、地域の良さを感ずることができるよう進めていきます。

めざす子ども像

## ○ 命や人を大切にする子 ○ 感謝の気持ちを大切にする子 ○ 夢に向かって進める子 ○ 富雄を愛する子

取組目標

子どもたちが地域やいろいろな人とかかわり、人とのつながりを持てるような活動や遊びを通して、充実感を得ることができる取組の充実

### 【今年度の取組紹介】

#### ＜お話の会（絵本の読み聞かせ）＞

昨年度より回数を増やし、年間5回ゲストティーチャーの方に来ていただき、絵本や素話の読み聞かせや手遊びをしていただいています。毎回同じ方たちに来ていただくことで、子どもたちも親しみを持って「今日、忍者さん来る日や。」「今日はどんな絵本、持って来てくれるんやろな。」と楽しみにしています。子どもたちの発達段階を考慮し興味を持ちそうな絵本や素話を選び感情豊かな語りかけで読んでくださるので、毎回絵本の世界に入り込み、豊かな心を育み話を聞く力も身につけています。また、子どもたちも絵本が好きになり、園の絵本を毎日借りて帰る子も増えてきました。



#### ＜東大寺の講話・お水取りの話＞

春に遠足で行った東大寺や二月堂の話聞くことで、「行ったことある！」「大仏さま、めっちゃ大きかったなあ。」「おばあちゃん家のカレンダーで見たことあるわ。」など口々に話をしながら興味を持って聞くことができました。専門的な知識を持っておられる方にゲストティーチャーに来ていただき、子どもたちが疑問に感じたことや知らないことを話していただき、奈良の文化や世界遺産に触れる機会をもてました。また、事前に打ち合わせをしたことで、子どもたちに前もって話をしたり、大仏様の写真や置物を保育室に掲示しておいたりすることができ、子どもたちもより、興味をもって聞くことができました。



### 【今年度のまとめ】

回を重ねることで、より子どもたちにとって活きた活動となり、豊かな心が育ちました。また、実際に遠足で行った東大寺や二月堂の話聞くことで、より身近に感じられ、奈良の文化や世界遺産に興味・関心を持つことができました。実施計画も単発的にするのではなく、継続したり活動が繋がっていたりすることで、子どもの心に蓄積され、感動体験となることを改めて感じました。また、事業活動のねらいや活動している子どもたちの様子を啓発していくことで、保護者や地域の方々の理解や協力を得ることができました。

### 【来年度に向けて】

来年度も継続し、地域の方々の教育力を活かして保育に取り入れながら、人とかかわり、人とつながりを持てるような体験活動になるように計画実践していきたいです。また、地域や保護者の方に園の取組を、より理解していただき協力を得られるように啓発活動にも努めていきたいです。

## めざす子ども像

**命や人を大切にする子 感謝の気持ちを大切にする子**  
**夢に向かって進める子 富雄を愛する子**

## 取組目標

- 環境整備や行事を通して、様々な方々との触れ合いを深められるような取組の充実
- 幼児の心身の発達を促す直接体験ができるような、保育内容の工夫

## 【今年度の取組紹介】

## ○「ようこそ触れ合い会」

幼稚園に地域高齢者の方を招待して「ようこそ触れ合い会」を行いました。子どもたちが準備をし、当日出迎えや案内も行いました。歌を披露したり、わらべ歌などを一緒にしたりした後、地域の方に折り紙やあやとり、お手玉、こま回し等の伝統的な遊びを教えていただきました。「おじいちゃんすごい。」「おばあちゃん、上手。」と子どもたちは高齢者の方へ尊敬の気持ちをもつとともに、一人一人の子どもの姿に合わせて声をかけたり褒めたりしてくださる地域の方に安心して甘えていました。地域高齢者の方との触れ合いは、子どもたちの心を豊かにする活動の1つとなっています。



## ○絵本整理

今年度の新規事業として、地域の方と保護者が協力して、絵本の整理をしてくださいました。全ての絵本の古いブックカバーやビニールテープなどを剥がしてきれいにし、新しいブックカバーをかけ直しています。ブックカバーのかけ方を地域の方から保護者に教えていただく中で、交流もできました。子どもたちも絵本運びをしながら、たくさんの方が手伝ってくださる様子を見て、「ありがとうございます。」と、感謝の気持ちを伝えることができました。



## 【今年度のまとめ】

コーディネーターの方々と相談しながら取組を進め、多くのボランティアやゲストティーチャーのご協力により、保育内容を充実させ、環境改善を行うことができました。子どもたちは地域の方々と触れ合いを通して、感謝の気持ちや安心感をもてるように積み重ねてきましたが、今年度は、花の植え替えや絵本整理のボランティアに保護者も多数参加し、地域の方と交流することができました。

## 【来年度に向けて】

今年度同様、コーディネーターの方々と連携し、小学校以降の学びにつながる心身を育ていけるような豊かな体験や園内の環境づくり等に、地域の方々の力添えを得ながら取り組んでいきたいと考えています。また、今年度行った絵本整理の続きを行い、園児の図書活動が充実できるようにしていきたいと思っております。